



2025年度 JTCCMセミナー 性能評価の最新情報・基本運用

区画貫通の性能評価について

一般財団法人建材試験センター
性能評価本部
性能評定課：柴澤、牧田

All Rights Reserved. Copyright (c) Japan Testing Center for Construction Materials(JTCCM).

1



区画貫通の性能評価（歴史的経緯）

1970年代後半

2000年～

2024年～

告示仕様・任意評定

建築基準法改正

告示1422号の一部
改正(5月上旬)※

BCJ評定
(日本建築センター)

移行

大臣認定(個別認定)

判定

遮炎性能・有害な発煙など
要求性能 60分・120分
裏面温度 260℃
ケーブル表面温度 340℃

判定

遮炎性能
要求性能 20分, 45分, 60分
温度規制なし

今後の動向?

要求性能
120分追加?

※ 建築基準法施行令 第129条の2の4第1項第七号ロ

2025. 4. 24付時

All Rights Reserved. Copyright (c) Japan Testing Center for Construction Materials(JTCCM).

2



区画貫通の性能評価(はじめに) 特徴(1)

建築基準法施行令 第129条の2の4第1項第七号ハ



建築基準法上「**給水、排水その他の管**」と記され、
防火区画を貫通する部材の仕様・性能が要求されている。



防火区画となる壁や床に貫通されている「**配管類**」の性能評価

All Rights Reserved. Copyright (c) Japan Testing Center for Construction Materials(JTCCM).

3



区画貫通の性能評価(はじめに) 特徴(1)



「配管類」などの貫通部材だけの性能でよいのか？



「配管類」だけの性能を規制
⇒防火性能を担保することは困難！

⇒「**区画貫通部措置工法**」として、総合的な性能評価

All Rights Reserved. Copyright (c) Japan Testing Center for Construction Materials(JTCCM).

4



区画貫通の性能評価(はじめに) 特徴(2)

【区画貫通には、二つの規格】

〈大臣認定〉

建築基準法施行令
第129条の2の4第1項第七号ハ



指定性能評価機関で評価
〈当機関など〉

〈消防評価＝任意評価〉

消防庁告示第4号



第三者評価機関で評価
〈(一財)日本消防設備安全センター〉

All Rights Reserved. Copyright (c) Japan Testing Center for Construction Materials(JTCCM).

5



区画貫通の性能評価(はじめに) 特徴(2)

大臣認定(評価範囲)

≠

消防評価(評価範囲)

大臣認定	≠	消防評価
- 要求性能時間(20分、45分、60分) - 遮炎性能		- 要求性能時間(60分) - 遮炎性能(大臣認定と同一) - 遮煙性能(消防法独自の判定基準) - 遮熱性能(消防法独自の判定基準)

All Rights Reserved. Copyright (c) Japan Testing Center for Construction Materials(JTCCM).

6



「区画貫通評価の最新情報」について

(1) 区画貫通評価の認定数について

(2) 相談案件「試験なし案件」の事例について

(3) アウトレットボックス等の取り扱いについて

(4) 区画貫通に係わる告示の一部改定について

All Rights Reserved. Copyright (c) Japan Testing Center for Construction Materials(JTCCM).

7



区画貫通の性能評価(最新情報1)

(1) 区画貫通評価の認定数について

大臣認定数(国交省HP公開データより)

	評価項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全評価機関	試験あり	43	44	38	33	48
	試験なし	10	14	31	39	62
	合計	53	58	69	72	110

←年間約40件程度

←増加傾向

- ・ 過去5年間の大臣認定数(試験あり・試験なし)
- ・ 試験なし案件の受託件数増加
- ・ 2024年度は省令料金改定に伴う駆け込み需要あり

All Rights Reserved. Copyright (c) Japan Testing Center for Construction Materials(JTCCM).

8



区画貫通の性能評価(最新情報2)

(2) 相談案件「試験なし案件」の事例について

- (1) 開口寸法(面積)・占積率の見直し
- (2) スリーブ材・化粧材等追加の見直し
- (3) 新たな配管種等の追加見直し



(1)～(3)の変更は、遮炎性能に影響する事項



性能評価試験が必要＝新しい認定番号



認定番号は、既存の番号を変更したくない!!

All Rights Reserved. Copyright (c) Japan Testing Center for Construction Materials(JTCCM).

9



区画貫通の性能評価(最新情報2)

変更前

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ300mm以下)
	面積	0.071m ² 以下
占積率 (開口面積に対する被覆材付配管の断面積の割合)		60.0%以下
貫通する床の構造等		A/LCパネル又は鉄筋コンクリート造 厚さ 100mm以上

変更後

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ300mm以下)→円形(φ350mm以下)
	面積	0.071m ² 以下→0.097m ² 以下
占積率 (開口面積又は鋼製スリーブ内径面積に対する被覆材付配管の断面積の割合)		60.0%以下→72.5%以下
貫通する床の構造等		A/LCパネル又は鉄筋コンクリート造 厚さ 100mm以上

All Rights Reserved. Copyright (c) Japan Testing Center for Construction Materials(JTCCM).

10



区画貫通の性能評価(最新情報2)

性能評価試験

(追加・変更した事項を反映させた試験を実施)



この結果を根拠とする。

新たに試験を要しない性能評価

(追加・変更したい事項を追記処理)



評価委員会で承認→大臣申請

既認定番号 PS060FL-0000



枝番処理

認定番号 PS060FL-0000-1

All Rights Reserved. Copyright (c) Japan Testing Center for Construction Materials(JTCCM).

11



区画貫通の性能評価(最新情報3)

(3) アウトレットボックス等の取り扱いについて



従来は鋼製・被覆材等の仕様条件
(準耐火建築物の防火設計指針など)



区画貫通認定は必須ではないとされていた。

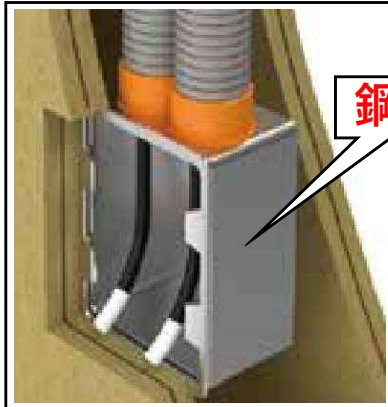
All Rights Reserved. Copyright (c) Japan Testing Center for Construction Materials(JTCCM).

12



区画貫通の性能評価(最新情報3)

区画貫通認定は必須ではない ➡ 個別認定の交付の許可!!



鋼製

2007年に大臣認定が交付第一号

1社、2社…複数社の認定取得

※認識の変化

現場で要求 = 認定が必須

All Rights Reserved. Copyright (c) Japan Testing Center for Construction Materials(JTCCM).

13



区画貫通の性能評価(最新情報3)

建築設備設計・施工上の運用指針 ➡ 記載の変更



■従来の記載方法

鋼製(めっき処理製又はステンレス鋼製)
・開口面積・防火被覆など

■現行の記載方法

令第129条の2の4第1項第七号イ, ロ, ハ
の規定による認定を受けた工法

All Rights Reserved. Copyright (c) Japan Testing Center for Construction Materials(JTCCM).

14

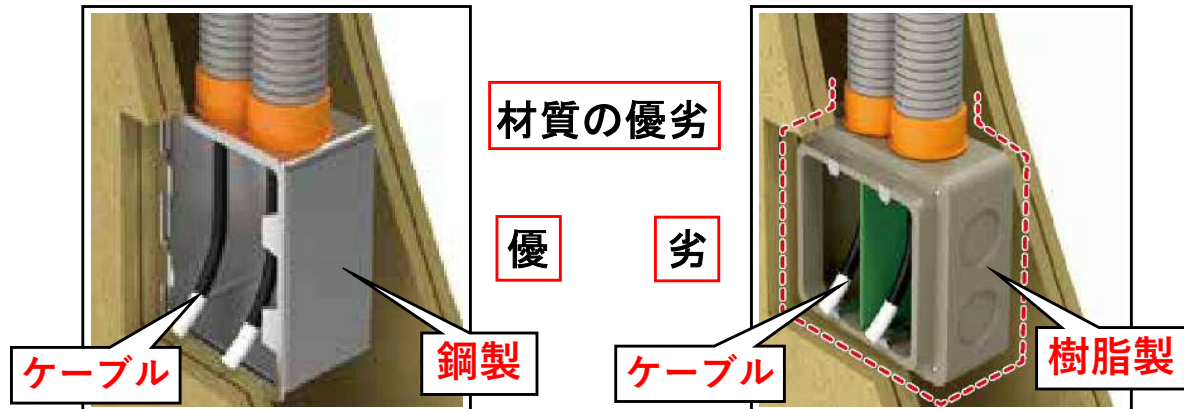


区画貫通の性能評価(最新情報3)

仕様の「鋼製」の制限なし



認定交付＝樹脂製



All Rights Reserved. Copyright (c) Japan Testing Center for Construction Materials(JTCCM).

15



区画貫通の性能評価(最新情報4)

(4) 区画貫通に係わる告示の一部改定について



※告示1422号の見直し

令第129条の二の四第一項第七号 **ロ** の基準に基づき、
準耐火構造の防火区画等を貫通する給水管・配電管
その他の管の外径を定める件の一部を改訂



変更点は??

All Rights Reserved. Copyright (c) Japan Testing Center for Construction Materials(JTCCM).

2025. 4. 24付時

16



区画貫通の性能評価(最新情報4)



注目は2点



(1) 耐火二層管の外管・内管の外径及び厚さの制定

(2) 「耐火二層管貫通部二時間耐火構造」の制定

今後の動向 ※スケジュールは未定

令第129条の二の四第一項第七号ハの改定等 + 業務方法書の改定

個別認定

2025. 4. 24付時

All Rights Reserved. Copyright (c) Japan Testing Center for Construction Materials(JTCCM).

17



区画貫通の基本運用

「区画貫通部措置工法」の総合的な性能評価

①貫通部材（配管・ケーブル等）

②躯体の仕様・開口寸法・形状等（壁・床）

③埋め戻し材又は仕切材など

④貫通部処理材など

（仕様により、③に④の性能が兼用されている）

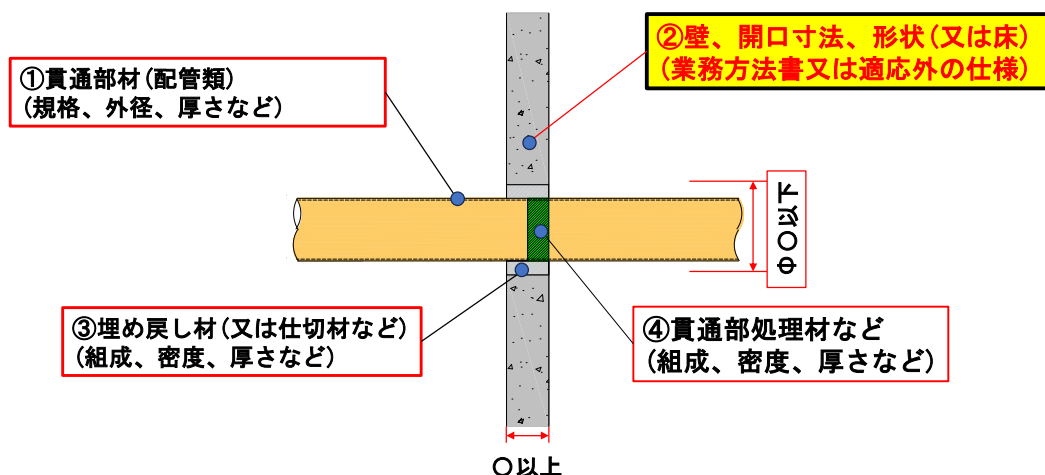
All Rights Reserved. Copyright (c) Japan Testing Center for Construction Materials(JTCCM).

18



区画貫通の基本運用

①～④の「区画貫通部措置工法」の総合的な性能評価



All Rights Reserved. Copyright (c) Japan Testing Center for Construction Materials(JTCCM).

19



区画貫通の基本運用

②躯体・開口寸法・形状等(壁・床)

壁(又は床)

(業務方法書の試験体仕様例)

		試験体仕様	
壁 の 防 火 区 画	①	両面せっこうボード(厚さ12.5mm(下張り)+厚さ9.5mm(上張り))重張木製枠組造の部材の壁を貫通する工法の試験体	①45分準耐火構造
	②	両面せっこうボード(厚さ12.5mm(下張り)+厚さ12.5mm(上張り))重張木製枠組造の部材の壁を貫通する工法の試験体	②60分準耐火構造
	③	厚さ70mm以上の高温高压蒸気養生された軽量気泡コンクリート(以下、ALCという。)の部材の壁を貫通する工法の試験体	③60分耐火構造
	④	厚さ70mm以上のプレキャストコンクリート板(以下、PCAという。)の壁を貫通する工法の試験体	④60分耐火構造

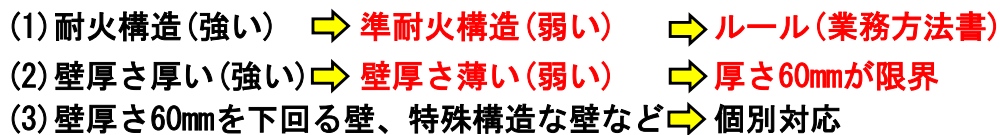
弱い

強い

ただし、上記の①から④のいずれの場合についても、管の周囲に可燃物が存在する仕様は、試験体仕様の対象としない。

All Rights Reserved. Copyright (c) Japan Testing Center for Construction Materials(JTCCM).

20



21





区画貫通の性能評価に関する問合せ先

◎問合せ先:

一般財団法人建材試験センター
性能評価本部 性能評定課
〒340-0003 埼玉県草加市稲荷5丁目21番20号
中央試験所内
TEL: 048-935-9001 FAX: 048-931-8324

◎案件担当者:

柴澤 徳朗
牧田 智明



All Rights Reserved. Copyright (c) Japan Testing Center for Construction Materials(JTCCM).